

公の施設の指定管理者における業務状況評価書

平成25年10月18日

施設名	高知県立県民文化ホール	所管課	文化推進課
-----	-------------	-----	-------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人高知県文化財団	指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
施設所在地	高知市本町4-3-30		
事業内容	県民の明るく豊かな文化生活の向上に寄与するための文化事業の実施、及び音楽、演劇その他の催しのための場の提供を行う。 ・施設利用の許可等 ・ホール事業の企画等 ・施設及び設備の管理 ・その他ホールの設置の目的を達成するための業務		
施設内容	<建物>延べ床面積:11,842.77㎡ 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)地下1階地上4階 <土地> 5,288.15㎡ <主要施設> 大ホール(1507席)、小ホール(500席)、楽屋、リハーサル室、多目的室など <開館時間>午前9時～午後10時 <休館日> 12月27日～1月1日 <主な料金> ホール・多目的室は午前・午後・夜間・全日の別で料金設定		
職員体制	常勤職員: 5人	契約職員: 4人	合計: 9人

※職員数は平成24年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

		平成23年度(決算)	平成24年度(決算)	平成25年度(予算)
収入	県支出金	128,838	111,966	103,725
	事業収入	62,866	97,800	111,041
	その他	4,940	2,815	5,564
	収入計(a)	196,644	212,581	220,330
支出	事業費	190,668	207,495	220,330
	(うち人件費)	(34,949)	(33,966)	(44,261)
	その他	10,016	5,086	0
	支出計(b)	200,684	212,581	220,330
収支差額 (a)-(b)		-4,040	0	0

3 利用状況

	平成23年度(実績)	平成24年度(実績)	前年度比	
①年間利用者数(単位:人)	オレンジ	154,300 人	194,410 人	+ 40,110人
	グリーン	38,000 人	47,150 人	+ 9,150人
	計	192,300 人	241,560 人	+ 49,260人
	<利用実績> 平成23年度は大規模改修による3か月間の休館期間があったため入館者数は20万人を割り込んだが、24年度はオレンジホール194,410人、グリーンホール47,150人、計241,560人と改修工事前の入場者数に回復した。			

4 県の要求水準に対する評価

県民文化ホール

要求水準 1

「優れた芸術文化に触れる場としての機能を充実する」

評価項目	評価	意見(コメント)
<p>○ 県内最大の座席数の大ホール(1,504席)を有する施設として、また、県民にとって芸術鑑賞という特別な場であるとの視点に立ち、他ホールでは開催できない規模の優れた舞台芸術、音楽等の催事が安定的に行えるよう環境を維持する。</p> <p>・利用者の視点での運営に心がけるとともに、施設設備を常に良好な状態に保ち故障や事故のない運営を行う。</p>	B	<p>・要求水準どおりの適正な管理運営・事業が行われている。</p>
<p>○ 貸館以外の催事として、県民の鑑賞に相応しい自主事業を企画し、県民が質の高い芸術文化に触れる機会を確保する。</p> <p>・自主企画事業を実施する場合には、子どもたちが芸術に触れる視点を重視し、アウトリーチ活動などの機会を積極的に設ける。</p>	B	<p>・経費削減しながら事業運営に力を入れている。 ・自主企画事業で子ども向けの公演を実施するなど児童・生徒への芸術文化にふれる機会を作った。 ・児童・生徒が文化・芸術に触れる機会を積極的に設けていることは評価できる。 ・自主事業数は4から13に大幅アップし、他でやらないものを選択して実施している。</p>

要求水準 2

「芸術文化の創造の場としての機能を充実する」

評価項目	評価	意見(コメント)
<p>○ ホール、多目的室ともに利用の促進を図るとともに、利用や舞台設備操作に関する主催者への適切なレファレンスや、文化団体が練習や発表等のために利用しやすい環境を整えることなど、利用者が利用して良かったと思っていただけのサービスを提供する。</p>	B	<p>・ホールの利用率(約70%)を維持している。 ・文化団体の発表の場としてホールを利用する際、利用日の調整を図り、土日祝日の少なくとも半分は、文化団体の利用に配慮している。 ・リニューアル効果で県民の利用率がアップした。 ・リハーサル利用を増やすなど効果を上げた。 ・多目的室の利用の機会が増えた。(前年度より10ポイント増) ・文化団体が利用しやすいように配慮。 ・利用者に向けた不断の働きかけを続けて欲しい。</p>
<p>○ 文化団体が練習などの日常の活動拠点として文化ホールを利用してもらうための取組みを進める。</p>	B	<p>・一定、練習等での利用を増やしている。 ・更なる働きかけやPRで利用を伸ばして欲しい。 ・割引制度の適用が効果的であった。 ・割引等で利用を増やそうとしている。 ・大小のホールを練習等で日常的に利用するには負担が大きい。</p>
<p>○ 文化団体が利用しやすい小ホールと多目的室の利用ニーズを把握し、利用を促進することで文化活動の場を提供する。</p>	B	<p>・利用促進を進め、利用件数を伸ばした。 ・多目的利用率が上がった。 ・割引等で利用を増やそうとしている。 ・小ホールを利用し易い工夫した。 ・多目的室も使用料を減免し、文化団体の負担が軽減された。</p>

要求水準 3

「県内各地域の芸術文化の振興に寄与する」

評価項目	評価	意見(コメント)
<p>○ 県内最大のホールとしてのノウハウをもとに、他の県内ホールがそれぞれの地域で芸術文化振興の拠点となるよう舞台技術や企画運営の指導に努める。</p>	B	<p>・より積極的に指導育成の役割に力を入れてほしい。 ・県内の文化施設協議会加盟館の職員を対象に、舞台設備、音響、照明等の舞台技術のレベルアップのための講習会を開催。</p>

効率的な運営、サービスの向上、施設、設備の管理

評価項目		評価	意見(コメント)
適正な管理運営の確保	社会的責任 ・法令等の遵守 ・個人情報、情報公開の状況 建物や設備の管理 ・点検・修繕の実績 ・業務委託の状況 危機管理 ・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策 ・マニュアルの作成 ・職員研修	B	・経費節減の意識を持って業務に当たっている。 ・避難訓練は実戦に即した形でやるべき。 ・経費節減に努力し、黒字決算になった。 ・割引等さまざまな手立てで増客増収を目指していることはわかる。 ・地下駐車場を使い易く改善している。 ・公演等の内容別、主催者別の利用状況、入場料金ランク別、割引制度の効果などを分析しており、利用実績の調査、分析は今後のサービス向上につながる。
利用者サービスの維持向上	サービス向上への取組 ・自己点検・評価の状況 ・事故、クレームへの対応 ・職員の専門性の向上 ・研修の実施状況 ・その他サービス向上の取組		
利用実績	利用実績の状況 ・利用状況の分析		
収支の状況	経営努力 ・収入増加の取組 ・経費削減の取組		

	評価	意見(コメント)
総合評価	B	・要求水準はクリアしている。 ・全体として積極性、攻めの姿勢があまり感じられない。 ・退職等による人件費の削減が事業予算に大きく影響している運営は全体計画の立て方が甘いのでは。 ・限られたスタッフで管理運営を行った。 ・自主事業の増大等前向きな姿勢は買う。 ・利用者が増加している。 ・文化、芸術は景気が良くなり心に余裕ができると鑑賞する人発表する人は増える。 ・期待を込めて来年度はさらに利用者が増えることを望む。 ・郷土に密着したジュニアオーケストラ、郷土芸能大会、新人演奏会などの取り組みが伸びつつあるので、是非、継続してってもらいたい。
県の評価	B	・平成24年度は自主事業の充実を図り、優れた作品をバランスよく実施し、県民の多様な観賞ニーズに応えるとともに、割引制度により文化団体が利用しやすい環境を作ったこと、ジュニアオーケストラの育成により本県音楽文化の振興を図ったことは評価できる。

【評価の目安】

- A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

この「4. 県の要求水準に対する評価」は、外部の有識者等で構成する委員会による評価及び意見と、それらをもとに県が評価及び意見を付したものです。

平成24年度事業報告書

(1) 県民文化ホール

施設、設備の管理、運用を適切に行うとともに、音楽、演劇、舞踊等の文化芸術活動や大会行事等の会場として大小ホール及び多目的室の貸出を行った。

また、県民の多種多様な鑑賞ニーズに応えるため、幅広いジャンルから主催公演、共催公演を開催した。

さらに、高知ジュニアオーケストラの育成に努めるとともに、県民文化ホールでの技術研修等を実施した。

ア 貸館事業

大小ホール及び多目的室の利用許可、使用料の収納事務を行った。

(ア) 利用日数、利用率

区 分		前年度	当年度
オレンジホール (大ホール)	開館日数	250日	329日
	利用日数	174日	229日
	利用率	69.6%	69.6%
	利用単位数	62.9%	60.4%
グリーンホール(小 ホール)	開館日数	250日	329日
	利用日数	177日	234日
	利用率	70.8%	71.1%
	利用単位数	56.1%	55.0%
多目的室	延べ利用件数	1,051件	1,788件
	利用率	39.1%	49.8%

※前年度は大規模改修のため、4～6月の3ヶ月間休館

(イ) 利用件数、入場者数

区 分		前年度	当年度
オレンジホール (大ホール)	公演利用件数	132件	167件
	入場者数	154,300人	194,410人
グリーンホール(小 ホール)	公演利用件数	142件	197件
	入場者数	38,000人	47,150人

(ウ) 使用料収入

(単位：千円)

区 分	前年度	当年度
ホール使用料	45,682	72,741
多目的室使用料	8,291	12,504
計	53,973	85,245

イ 自主文化事業

(ア) 主催事業

事業名		目的・内	実施日 会場	入場者 数
1	ミュージカル 「9時から5時まで」	ブロードウェイで絶賛された痛快ミュージカルコメディをミュージカル初挑戦の草刈民代ほか紫吹淳、友近など豪華メンバーにより上演した。	4月11日 (水) 大ホール	556人
2	メゾソプラノ 谷口睦美リサイタル	2009年度第19回出光音楽賞受賞に続き、2010年度よんでん文化奨励賞を受賞した室戸市出身のメゾソプラノ歌手谷口睦美さんのコンサートを開催した。	4月29日 (日) 小ホール	500人
3	第36回高知県 新人演奏会	高知県出身の音楽大学等の新卒業生による演奏会を開催し、その活躍を県民に紹介するとともに、地域の音楽文化の発展に寄与した。	5月26日 (土) 小ホール	150人
4	サー・チェンピアノ リサイタル	国際ピアノコンクールにすべて上位入賞を果たしたサー・チェンのピアノリサイタルを開催した。	7月15日 (日) 小ホール	379人
5	親子で歌い継ごう日 本のうた	懐かしい童謡からヒット曲まで、時代を越えて記憶に残る“うた”や名曲の数々を世代を超えて歌い継ぎ、未来につないでいくコンサートを開催した。	8月18日 (土) 大ホール	557人
6	土佐の伝統芸能	平成21年度に開催し好評を得た「土佐の伝統芸能」の第二弾として、県内に受け継がれている伝統芸能を次世代に伝えていくため、大豊町の永淵神楽、佐川町の太刀踊りなどを広く県民に紹介した。	10月14日 (日) 小ホール	134人
7	和太鼓TAO	和太鼓をひとつの表現手段として作曲・演奏法など独自のスタイルを確立し、今までの和太鼓という概念を覆したTAOの演奏会を開催した。	10月17日 (水) 大ホール	331人
8	アガサ・クリスティ原作 「招かれざる客」	アガサ・クリスティ原作の推理ドラマを浅丘ルリ子、古谷一行ほかの豪華メンバーにより上演した。	10月26日 (金) 大ホール	715人
9	室内楽名曲コンサート I	日本を代表する3人の演奏者を招いて、ピアノ三重奏曲を中心に、親しみのある名曲を交えたコンサートを開催した。	11月10日 (土) 小ホール	121人
10	県民参加による第9 演奏会	東京都交響楽団のメンバーを中心に県内の演奏家を加えたオーケストラに、県民から公募した合唱パートを加えてベートーベンの第九交響曲の演奏会を開催した。	12月15日 (土) 大ホール	705人
11	落語 桂ざこば独演会	上方落語会を代表する人気落語家桂ざこばの独演会を開催した。	2月23日 (土) 小ホール	354人
12	高知ジュニアオーケストラ定 期演奏会	平成24年1月に結成した高知ジュニアオーケストラの第1回定期演奏会を開催し、これまでの練習の成果を県民に紹介した。	2月24日 (日) 小ホール	450人
13	室内楽名曲コンサート II	N響メンバーによる弦楽四重奏に地元のピアニストを加えて、弦楽四重奏曲やピアノ五重奏曲の名曲を演奏した。	3月12日 (火) 小ホール	338人

(イ) 共催事業

事業名	目的・内容	実施時期 会場	入場者数
1 ピアノコンチェルトとの夢の出逢い	ピアノのレッスンを続けている小・中・高校生等がポーランドシレジア・フィルハーモニー管弦楽団をバックにコンチェルトを演奏し、演奏テクニックと幅広い音楽性の向上を高める機会を提供した。	4月5日 (木) 大ホール	1,100人
2 土佐弁ミュージカル	県内に在住している外国青年と日本人の役者が身近な土佐弁でミュージカルを演じることによって、文化活動と草の根の国際交流を深めた。	4月22日 (日) 小ホール	400人
3 ディズニーライブ 高知公演	ディズニーキャラクターによる親子で楽しめる楽しいミュージカルを開催した。	7月 27(金)～ 29日(日) 大ホール	延べ 4,800人
4 NHK公開放送 「BS日本の歌」	氷川きよし、千昌夫、辛島美登里、鳥羽一郎など豪華歌手が出演して、NHK公開放送「BS日本の歌」を視聴者参加により開催した。	9月13日 (木) 大ホール	1,300人
5 ブラスト	マーチングバンドやドラムによるエンターテインメント性を高めた、視覚と聴覚を刺激する迫力のステージで人気のあるブラストの演奏を提供した。	9月 28(金)～ 29日(土) 大ホール	延べ 4,100人
6 スーパーハイスクールプラス	県内の高等学校吹奏楽部のレベルアップと県内の音楽文化の発展を目的として、高知市及び近郊の吹奏楽部から推薦されたメンバーによる演奏会を開催した。	3月 23日(土) 大ホール	400人

(ウ) ネットワーク事業

a 員派遣研修

事業名	実施状況	実施時期	利用者数
市町村ホールへの派遣 研修	室戸市保健福祉センター 夢ひろばにおいて、室戸市職員やボランティアを対象に4回開催	8月6、13日 9月10、24日	延べ 35人

b 県民文化ホールでの技術研修

事業名	実施状況	実施時期	利用者数
① 文化施設協議会加盟館の職員等に対する研修	公立文化施設の職員等を対象に、機材の安全管理、各種の催物に応じた照明プランや音響プランなどについて、研修を行った。	4月17日 12月10日 2月12日	延べ 37人
② 高校演劇に対する技術研修	高校演劇への技術支援として、濱田善久(喜楽座)ほかの講師を招き、舞台照明、舞台音響、舞台美術等の基礎研修を実施した。	8月 14～17日 12月 16, 21, 23日	延べ 368人

(エ) ジュニアオーケストラの育成

児童、生徒が音楽を演奏する楽しさや仲間と一緒に合奏する楽しさを体験してもらうことにより、本県の音楽文化の発展と音楽を通して児童、青少年の健全育成につながるよう高知ジュニアオーケストラの活動を支援した。

a 団員数

コース	団員数	備考
演奏コース	17人	
基礎コース(1)	5人	バイオリン
基礎コース(2)	3人	チェロ

b 定期演奏会の開催

平成25年2月24日に、第一回目の定期演奏会をグリーンホールで開催し、多くの県民に日頃の練習成果を披露した。

- ・音楽監督兼指揮 脇岡総一（高知大学教育学部教授）
- ・入場者数 450人

ウ その他の事業

(ア) 協議会活動事業

高知県文化施設協議会の開催 2回開催

(イ) チケット販売

販売額	15,143,024円
販売手数料	754,554円

※主催事業分を除く。